

# ワカメ養殖の省力化機器開発！

## 【海藻種糸巻付器】

ワカメ養殖時の種糸巻き作業が軽減できる機器『海藻種糸巻付器(以下「筒」)』を開発しました(2011.6特許出願公開)。

構造はいたってシンプル。市販の塩化ビニール管に糸約50mを巻いたものです。この筒とワカメの菌(配偶体)の大量培養技術を組み合わせ、糸に大量のワカメの菌を付着させ、約1ヶ月間水槽で芽が出るまで管理した後、海に張った太いロープに巻き付け養殖を行います。



### 【特徴】

- ・種糸巻き作業時間の大幅短縮
- ・作業の軽減(重労働→軽作業)
- ・危険度の軽減(時間短縮・軽作業)
- ・種糸の無駄の減少(従来は種糸を巻きやすい長さに切って巻き付けるため、再度結ぶ必要があった＝結び部分の無駄)
- ・芽の脱落防止(従来の方法では、作業上の擦れにより芽の脱落が多かった)

### 【使用方法】

① 筒に養殖用ロープ(幹縄)を通してスライドさせるだけ。ロープに自動的に、らせん状に種糸が巻き付きます。

② 漂流物により種糸が切れ、糸がほつれるのを最小限に食い止めるため、数メートル間隔で輪ゴムで種糸を押さえます。

③ 筒の種糸が無くなったら、筒を開いて幹縄から抜き取ります。



筒をスライドさせるとスルスルと自動的に巻き付く種糸



外側から種糸を輪ゴムで押さえる。



巻き終えた筒を開き幹縄から抜き取る。